

こうきょうしいわみざわ 交響詩岩見沢、 を知っていますか？

岩見沢で長年歌い継がれてきた「交響詩岩見沢、を知っていますか。わがまちの交響詩がある自治体は数少なく、貴重なことです。市民の財産である「交響詩岩見沢、を改めて知り、末永く歌い継いでいきましょう。

問合先 市教委生涯教育課文化・スポーツ振興係（4西3 であえーる岩見沢4階） ☎ 35-5129

交響詩岩見沢とは

交響詩岩見沢は岩見沢村が設置され90年、市制施行30周年を祝い、昭和48年に郷土の詩人である加藤愛夫氏の作詞、北大交響楽団常任指揮者 川越守氏の作曲により「ふるさと岩見沢、の賛歌」として完成しました。

歴史を受け継ぎ、未来への発展を期待する「わがまち、への夢と希望が」序章 コタン、第一章 村の誕生、第二章 故郷の栄光、第三章 北国の象徴、として描かれています。

昭和49年の交響詩岩見沢披露演奏会以来、市民の文化祭やさまざまな行事で歌われ、広く市民に親しまれてきました。

作詞者 郷土の詩人 加藤 愛夫 氏

明治 35 年 雨竜郡北竜村生まれ
昭和 7 年 岩見沢に移り養鶏場を営みながら詩人として活動
昭和 34 年 岩見沢文化連盟結成に参画し副会長となる
昭和 46 年 北海道詩人協会会長となる
昭和 47 年 北海道文化賞を受賞
昭和 48 年 交響詩岩見沢を作詩。他に詩集「幻虹、夕陽無限、評論集「詩人のいる風景、紀行文「バイエルンの秋、などを出版
昭和 54 年 「辻村もと子 人と文学、を出版、同年逝去

交響詩岩見沢の歴史

昭和 48 年

加藤氏による原詩が完成
原詩を基に川越氏が作曲
「独唱、により初披露

昭和 49 年

中学生、高校生による合唱披露
市民合唱団を結成し披露演奏会を実施

昭和 50 年

LP レコード制作

昭和 52 年

「交響詩岩見沢の会、設立

「合唱の集い、で毎年合唱されるほか、市の節目である開庁 100・110・120・130 年式典での披露、また「北海道 21 世紀博覧会、など岩見沢で開催された多くのイベントでも披露

令和元年

「交響詩岩見沢の会、解散

令和 5 年

絵本「いわみざわの詩、制作
開庁 140 年式典で特設合唱団による合唱

交響詩岩見沢を楽しもう

東山公園通沿いには、市民の心の支えとなることを願い、交響詩岩見沢の詩を刻んだ碑が建てられています。

また、市立図書館などでは、その詩を基にこどもにも分かりやすく編集・脚色された絵本を見ることができます。



交響詩岩見沢の碑



絵本「いわみざわの詩、▶

YouTube の HamanasuArt チャンネルで、交響詩岩見沢のファイナルコンサートの映像を楽しむことができます。



今年は特設合唱団を設立し、10 月に開催される市民の文化祭で発表する予定です。詳細が決まり次第、市ホームページなどでお知らせします。